

昭和54年度実地調査の施行

本研究所においては、昭和54年度の実地調査として「人口の高齢化に伴う生活構造の変化に関する調査」を実施する予定であるが、その調査要綱を掲げると次のとおりである。

人口の高齢化に伴う生活構造の変化に関する調査

調査要綱

調査目的

わが国において、今後人口高齢化が急速に進むことは、人口問題研究所の将来推計人口によって明らかにされている。問題は人口高齢化の影響が国民生活のうえにどのように表われるかということであり、それに対する施策が必要な場合には、出来るかぎり適切な方策が採られなければならないことは言うまでもない。

この調査は、人口高齢化に伴って生活構造のうえにあらわれると思われる諸問題のうち、高齢者の所得、就労など経済面、家族関係、社会関係など社会面、健康、医療などの面の三つの分野を中心にして、大都市、地方中小都市、農山村において将来どのような問題が生じるかを明らかにすることを目的としている。

調査の方法

この調査は、世帯票、個人票Ⅰおよび個人票Ⅱにより行なう。

- (1) 世帯票は、世帯主および主婦を対象にして配票自計により行なう。
- (2) 個人票Ⅰは、60歳以上のひとを対象にして配票自計により行なう。
- (3) 個人票Ⅱは、30歳から59歳までのひとを対象にして配票自計により行なう。
- (4) この調査は、下記調査対象市区町村に依頼して選定された調査員が行なう。

調査対象地域および客体

(1) 調査地域

宮城県栗原郡志波姫町

宮城県登米郡米山町

宮城県桃生郡桃生町

山形県山形市

東京都墨田区

東京都目黒区

広島県広島市

鹿児島県川辺郡大浦町

鹿児島県薩摩郡祁答院町

鹿児島県肝属郡大根占町

(2) 調査客体

志波姫町	600世帯	米山町	600世帯
桃生町	600世帯	山形市	1,800世帯
墨田区	900世帯	目黒区	900世帯
広島市	1,800世帯	大浦町	600世帯
祁答院町	600世帯	大根占町	600世帯

調査時期

昭和54年6月1日～昭和54年9月30日

調査事項

- (1) 世帯の家族構成
- (2) 老後の経済生活に関する実態と意識
- (3) 老後の家族関係、社会関係に関する実態と意識
- (4) 老後の健康状態、医療に関する実態
- (5) 老人福祉施策に関する要望

結果の集計および公表

厚生省人口問題研究所がこれを行なう。